

# かえる倶楽部タイムズ

特 集

## 「 歩 行 障 害 」

脳神経内科

### <はじめに>

先生方も普段の診療で感じられている通り、超高齢社会に突入している日本では、歩行障害を来たした患者さんが多くおられ、今後も増えると思われれます。

歩行障害の原因としては大きく分けると神経疾患と整形疾患が挙げられます。当科では総合病院の強みを生かして、脳神経外科や整形外科など他科と協力しながら、歩行障害の患者さんの精査、加療を行っております。

### <神経疾患の鑑別>

ひとえに歩行障害と言いましても、脳卒中などによる片麻痺性歩行、小脳や脊髄または感覚性による失調性歩行、下肢の痙直による痙性歩行、パーキンソン病をはじめとしたパーキンソン症候群による歩行など多岐に渡ります。

### <対応>

脳神経内科ではまず問診、診察を通して、どのような歩行障害なのかを判断し、その他の神経学的所見も合わせて、障害が起きている解剖学的部位や病因を推察していきます。

その上で、神経伝導検査、針筋電図、脳波、脳MRI、RI検査などを組み合わせていき、診断をつけていきます。

下記は当科で歩行障害の原因精査をした患者さんの検査結果の一例です。

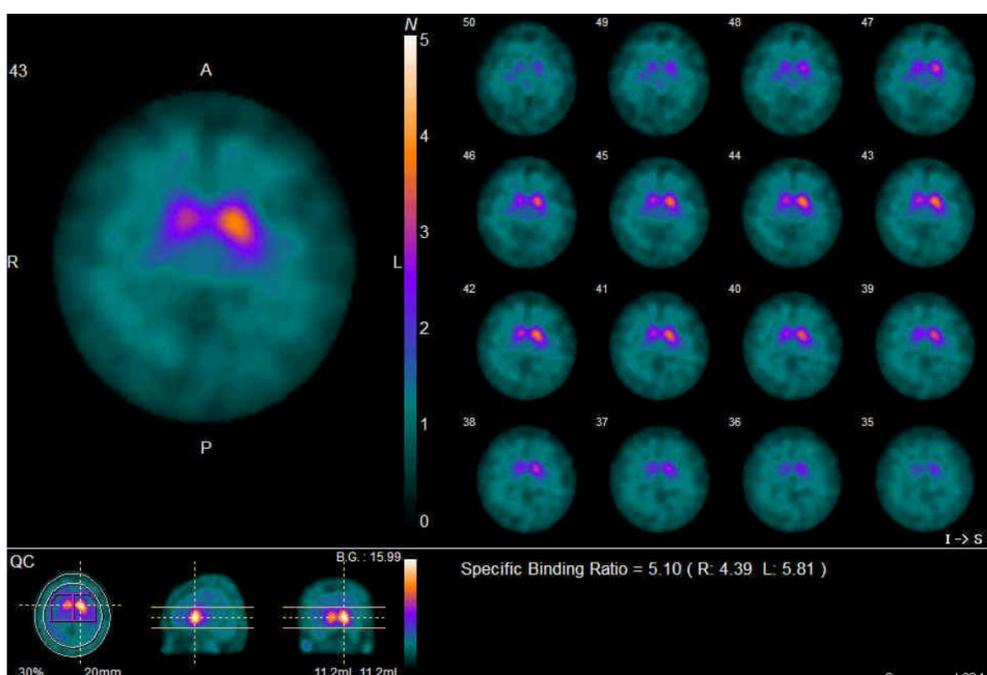


図1パーキンソン病患者

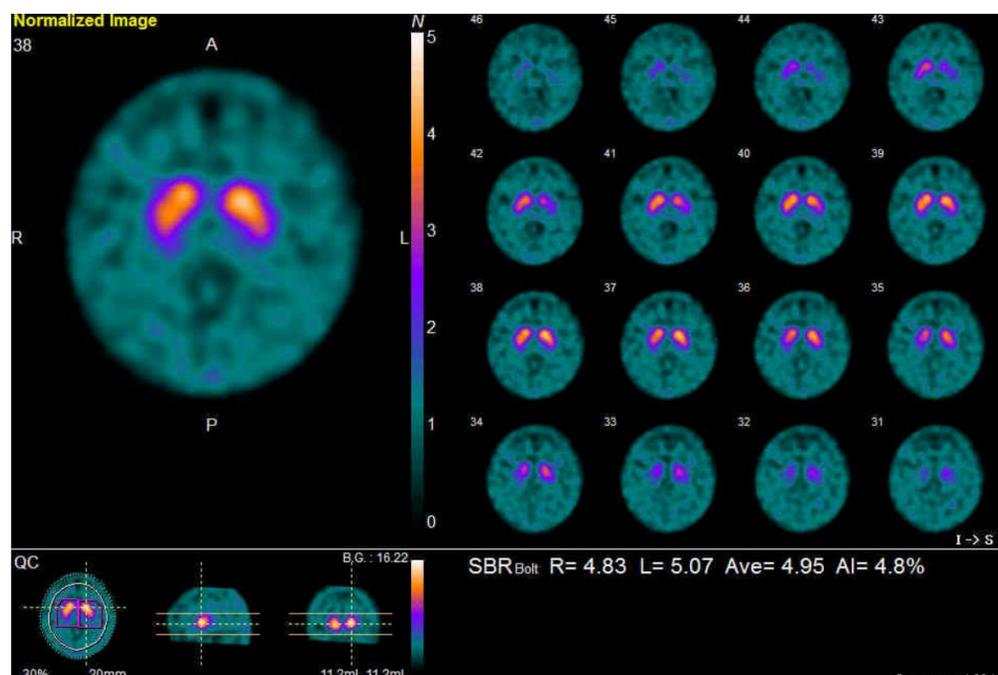


図2健常患者

パーキンソン病の患者でのダットスキャン  
 線条体での薬剤の取り込み低下

裏面に続く

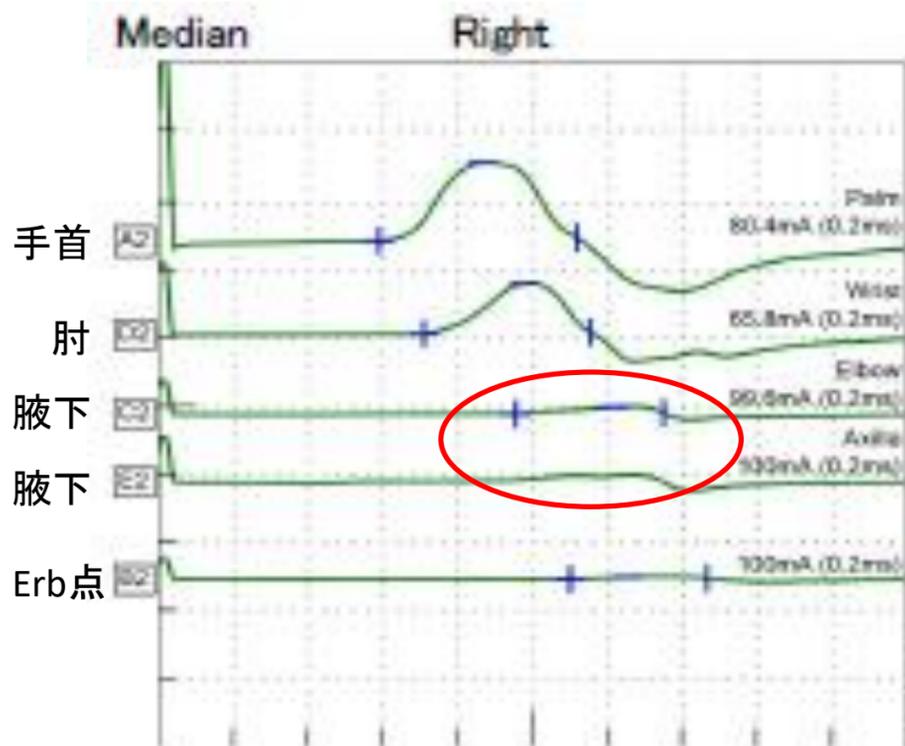


図3 治療前

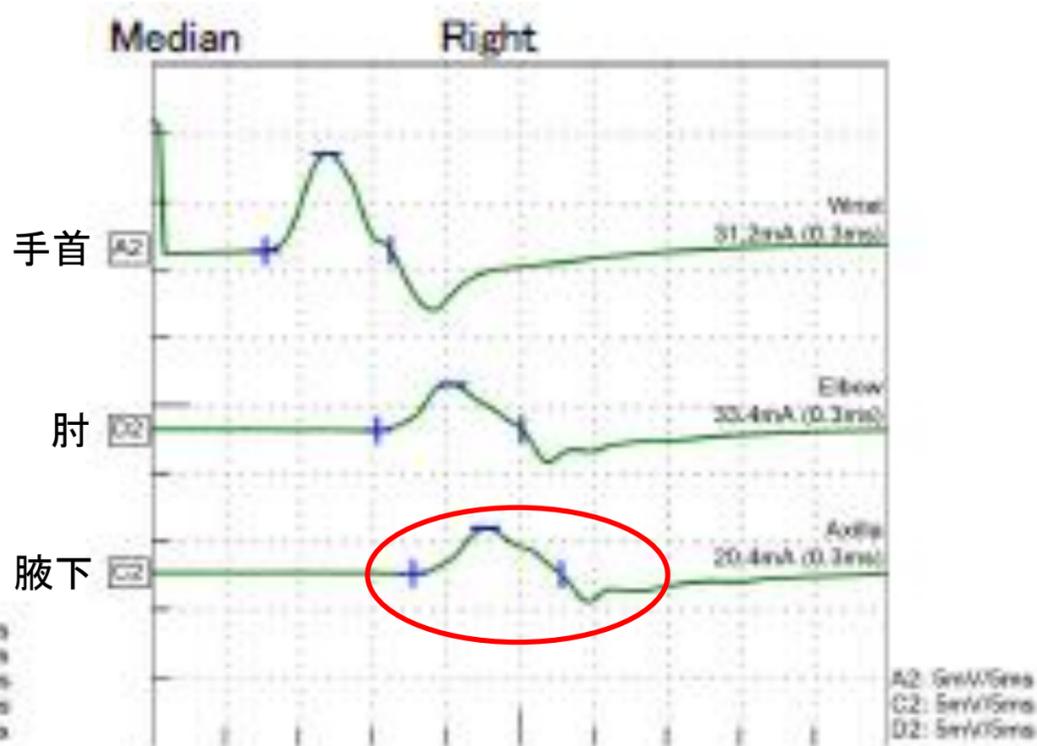


図4 治療後

慢性炎症性脱髄性多発神経炎の患者の神経伝導検査  
脱髄の所見(伝導速度低下、伝導ブロックなど)  
免疫グロブリンの投与で症状、検査所見も軽快

また、当科では診断、治療だけでなく、患者さんの社会環境調整もとても重要であると考えており、リハビリ科や看護師さん、メディカルソーシャルワーカーなどと協力して、患者さん、ご家族の希望に合わせて、社会環境調整のお手伝いをしています。

### <さいごに>

関西電力病院脳神経内科では、10名の医師を中心にチーム医療を行なっております。我々も神経疾患の診断、治療はとても難しいと感じており、いつも症例毎にチームで悩みながら日々の診療を行なっております。

地域の先生方で診断や治療に難渋した患者さんがおられましたら、お気軽に当科にご紹介下さい。

#### 【診療日程】

月曜日～金曜日(午前・午後)

#### 【地域医療連携室】

平日 8:30～19:00、土曜日 8:30～12:00

TEL 06-7501-1406 FAX 06-6458-0347

関西電力病院  
脳神経内科

医長 津崎 光司

日本神経学会(専門医・指導医)

日本内科学会  
(総合内科専門医・指導医)

日本認知症学会(専門医・指導医)

日本脳卒中学会(専門医)

日本臨床神経生理学会(専門医)

日本感染症学会(専門医)



## お知らせ

# 「総合診断科」のご案内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。

#### 【ご紹介頂く対象となる患者様】

不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。

当院病院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

#### 【診療日程】 火曜日(午前)

◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

Facebook

Facebook

<https://www.facebook.com/kanden.hospital/>

Twitter

Twitter

[https://twitter.com/kanden\\_hsp](https://twitter.com/kanden_hsp)